

令和5年度進捗評価シート
湯浅町歴史的風致維持向上計画(平成28年3月26日認定)
(最終変更(軽微) 令和4年6月3日)

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)	
1 歴史的風致維持向上に向けた連携及び推進体制	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)	
1 良好な景観の形成に関する施策との連携	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)	
1 重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業	3
2 重要伝統的建造物群保存地区拠点施設整備活用事業	4
3 大仙堀環境整備事業	5
4 歴史的風致形成建造物修理活用事業	6
5 熊野古道及び重要伝統的建造物群保存地区周辺道路美装化事業	
街路灯等整備事業	7
6 案内板等整備事業	8
7 防災施設整備事業	9
8 湯浅駅周辺整備事業	10
9 文化財等調査事業	11
10 空き家利活用事業	12
11 文化財公開等普及啓発事業	13
12 伝統行事等継承支援事業	14
13 特産物等PR総合支援事業	15
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)	
1 文化財の保存・活用の現状と今後の方針	16
2 文化財の保存修理等	17
3 文化財の保存・活用に関わる各種団体との連携	18
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)	19

□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	20
-------------------------	----

評価軸①-1

組織体制

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
歴史的風致維持向上に向けた連携及び推進体制		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
計画に記載している内容	本計画の実現、推進に向けて、教育委員会、政策企画課、産業建設課、ふるさと振興課及び総務課が中心となり、国、県等関係機関との協議を行うとともに適切な支援を得る。また、歴史まちづくり法第11条の規定に基づき設置した推進協議会は、計画の実施に関する連絡・調整を行う。なお、必要に応じて、湯浅町都市計画審議会や湯浅町文化財保護審議会、湯浅町伝統的建造物群保存地区保存審議会、文化財所有者等と連絡調整を行うものとする。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
法定協議会である「湯浅町歴史的風致維持向上計画推進協議会」は、令和5年5月8日に開催し、令和4年度の進捗評価等を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
令和5年度 湯浅町歴史的風致維持向上計画推進協議会 (R5.5.8 開催) 議事内容 (1)進捗評価について ・令和4年度 歴史的風致維持向上計画の進捗報告 (2)その他 令和5年度歴史的風致維持向上計画推進協議会の概要			

重点区域における良好な景観を形成する施策

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	
--	--

(1) 市街地の整備

①「瀬川町都市計画マスタープラン」・「瀬川町歴史的風貌維持推進計画」をはじめとする関連計画と連携して、歴建地区の適正な保全に努めるとともに、災害にも強い安全で調和のとれた市街地整備を図ります。

②地域活性化の拠点となる駅前商業施設「瀬川浅き蔵」周辺に駐車場、駐輪場・公園等を整備し、市民の利活用を推進します。

③平成30（2018）年度に策定した「熊野古道及び重伝建地区周辺遊歩等整備計画」により、安全で利用しやすく、町並みの景観に配慮した道路整備を進めます。

④安心安全な町並みの推進並びに良好な景観及び生活環境の保全のため、空家等の適切な空家対策を行うとともに、特定空家^(※)については、空家法に基づき対策を進めます。

⑤市街地における土地に関する権利を認定して明確にする地籍調査を継続して実施し、公共事業の円滑化や土地の権利関係の明確化、公租公課等の負担の公平化等を旨とします。

(2) 景観の保全

.....

①本町の豊かな自然環境について、誇れる地域資源として適切な保全・活用に努めるとともに、森林・丘陵地については、無秩序な開発計画を未然に防止します。

②良好な都市景観を育むため、山林や海岸の豊かな自然景観、伝統的な町並みや寺社等の周辺環境等の歴史的・文化的景観等の維持・保全に努めるとともに、これらの保全を通じて、郷土への誇りや愛着の向上、観光客等の資源として魅力を高めることに努めます。

[illegible]

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度 現在の状況
重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成19年度～		
支援事業名	伝統的建造物群基盤強化事業(保存修理)		
計画に記載している内容	重要伝統的建造物群保存地区において、伝統的建造物に特定している歴史的建造物の保存修理とその他の建築物の修景による整備を進める。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
重要伝統的建造物群保存地区内の建造物の計画的な修復や修理を実施することにより、適切な保存を図ることができた。 ☐ 令和5年度の実績 重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業・建築物の修理に対する補助 3件			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
重要伝統的建造物群保存地区内における修理・修景に対する補助			
  修理物件 (旧川端家 主屋)			
  修理物件 (上野家住宅主屋・2ヵ年事業の1年目終了時点)			

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度 現在の状況
重要伝統的建造物群保存地区拠点施設整備活用事業			☐実施済 ☒実施中 ☐未着手
事業期間	平成19年度～		
支援事業名	町単独事業、伝統的建造物群基盤強化事業(公開活用)、地方創生推進交付金		
計画に記載している内容	歴史的風致を活かしたまちづくりの拠点施設として必要な歴史的建造物を保存・整備し、重要伝統的建造物群保存地区の公開活用を促進する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
整備を進めてきた旧栖原家住宅の工事が完了し、令和4年11月12日より一般公開を開始した。解説板やVR映像などにより醤油醸造についての理解を深めることができる施設として順調に来館者を受け入れている。(R5年度:16,151人) また、和歌山県が整備した湯浅まちなみの駅内に休憩所を修景整備し運用を行っている。 既存の拠点施設についても、引き続き公開を行いながら、地域住民とも連携を図って活用している。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない			

 状況を示す写真や資料等
 旧栖原家住宅(フジイチ)


旧栖原家住宅 主屋



展示の様子

拠点施設の公開活用


 岡正
 (五月人形の展示)

 北町ふれあいギャラリー
 (押絵作品展)

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度 現在の状況
大仙堀環境整備事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成29年度～		
支援事業名	町単独、地方創生推進交付金		
計画に記載している内容	重要伝統的建造物群保存地区の象徴である大仙堀の保存と水辺環境の整備を行い、住環境整備と観光振興を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和2年度に実施した調査成果(石積みレーザー探査・ボーリング調査等)を踏まえた整備案について検討し、港湾管理者である和歌山県と協議を継続している。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			



評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度 現在の状況
歴史的風致形成建造物修理活用事業			☒ 実施済 ☐ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 平成29年度～

支援事業名 町単独事業、社会資本整備総合交付金

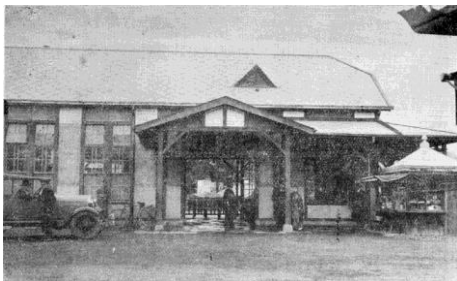
計画に記載している内容 歴史的風致の活動が行われる建造物及び良好な市街地環境を構成する建造物の歴史的風致形成建造物への指定を検討し、それらを保存活用するための取組みを進める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史的風致形成建造物に指定し改修整備工事を行った「湯浅駅旧駅舎」が、令和6年3月6日に国の登録有形文化財に登録された。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



開業当初の紀伊湯浅駅



屋根野地板に菱茸痕跡



小屋裏から三角ドーマ窓痕跡

事業により判明した痕跡

旧国鉄紀勢西線紀伊湯浅駅本屋
(R6.3.6 登録有形文化財へ)

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度 現在の状況
熊野古道及び重要伝統的建造物群保存地区周辺道路美装化事業 街路灯等整備事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成29年度～、平成14年度～		
支援事業名	町単独事業		
計画に記載 している内容	熊野古道や重要伝統的建造物群保存地区とその周辺の街路について、良好な市街地環境の保全整備と来訪者の周遊性を高めるために、復元、再生、町並みとの調和、歩行者の利便性など整備手法を十分検証し、美装化を進める。 重要伝統的建造物群保存地区とその周辺や熊野古道において、良好な市街地環境にふさわしい街路灯などを整備し、歴史的景観の向上を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
山田川の右岸を通る熊野古道(町道湯浅126号線)の歩道を、景観に配慮した舗装と木製のガードパイプとする事業のうち、飛越橋から一里松橋より西へ約70mまでの区間について完成した。また、それ以外の熊野古道や伝建地区周辺の道路美装化や無電柱化について、庁内連絡会議において検討・協議している。 伝建地区の街路灯については、交換の際に使用するものを電球色のLED灯にすることで、順次統一していった。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
町道126号線(熊野古道)景観に配慮した張り出し歩道 令和5年度実施箇所① 			
令和5年度実施箇所② 			
・歩道幅を確保するため、川に張り出して歩道を設置 ・景観に配慮した木製のガードパイプ ・石畳風の舗装			

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度 現在の状況
案内板等整備事業			☐実施済 ☒実施中 ☐未着手
事業期間	平成28年度～		
支援事業名	歴史的風致活用国際観光支援事業、町単独事業		
計画に記載している内容	熊野古道や重要伝統的建造物群保存地区とその周辺における案内板や主要な文化財などの説明板の多言語化・統一デザインを検討し設置するほか、来訪者の周遊性と利便性の向上のため必要な場所には、オープンスペースを活用した広場、駐車場、トイレなど、周遊性向上のための施設の整備を進める。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
湯浅まちなみの駅内に休憩所を開設した。また、白上遺跡において看板の付替えを行い、令和4年度に湯浅町観光協会により整備された施無畏寺から白上遺跡までの道順表示等を含めて、白上遺跡への来訪者の利便性向上が図られた。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



湯浅まちなみの駅休憩所



白上遺跡の看板整備

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度 現在の状況
防災施設整備事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成29年度～		
支援事業名	町単独事業、伝統的建造物群基盤強化事業(防災施設等)		
計画に記載している内容	重要伝統的建造物群保存地区において、初期消火活動等に有効となる歴史的景観に配慮した防災設備を検討し、設置を進めるとともに、地域住民による防災訓練に取り組む。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
10/7に、町内一斉地震津波避難訓練を実施した。訓練では、町民を対象にした夜間避難訓練と同時に、職員を対象とした夜間における地震津波時の初動対応訓練として、参集や近くの高台への避難、災害対策本部の設置などのシミュレーションを実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



夜間避難訓練の様子



災害対策本部設置訓練の様子

10/7 町内一斉地震津波避難訓練(夜間)の様子

評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
湯浅駅周辺整備事業		■実施済 □実施中 □未着手	
事業期間	平成28年度～		
支援事業名	町単独事業、社会資本総合整備交付金事業（都市構造再編集集中支援事業）		
計画に記載している内容	昭和2年(1927)開業当時の駅舎の文化財指定等による保存・整備をはじめ、町の玄関口である湯浅駅とその周辺において、歴史的な魅力の発信や観光客受入機能の強化を目的とした総合的な駅周辺整備を進める。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
湯浅駅旧駅舎は、令和5年5月14日に飲食・物販の店舗としてオープンし、地域住民や観光客の憩いの場所として多くの方（約2,000組/月）に利用されている。また、施設内には過去の駅前周辺の写真を展示するなど、湯浅駅周辺の歴史的な魅力を発信している。駅前駐車場の利用者数が前年度比約130%増加しており、湯浅えき蔵やおちゃと公園の利用を含め、効果があらわれている。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）		
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	湯浅駅周辺へアクセスする道路が狭いため、道路拡幅等の対策が必要となっている。		

状況を示す写真や資料等



旧駅舎内の様子



人気の定食メニュー



旧駅舎内に展示している写真

評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度 現在の状況
文化財等調査事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成28年度～		
支援事業名	町単独事業、埋蔵文化財発掘調査等事業、文化遺産総合活用推進事業		
計画に記載している内容	町内にある建造物、史跡、民俗文化財などの文化財の調査を実施し、学術的価値を確認すると共に、未指定文化財の指定等や、既指定等文化財の上位指定を進める。また、醍醐寺金堂の湯浅での所在地の研究や、歴史資源のリストアップとアーカイブ化を進める。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
周知の埋蔵文化財包蔵地における試掘確認調査を1件実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

青木Ⅰ・Ⅱ遺跡 試掘確認調査



歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

状況を示す写真や資料等

状況を示す写真や資料等

所有者

実施主体

オペレーション

民間

まちづくり会社

金融機関

店舗 運営事業者

飲食 運営事業者

宿泊 運営事業者

設計 会社

施工 会社

町内退休古民家等

所有

所有／管理

運営

融資

返済

賃貸借

発注

改修

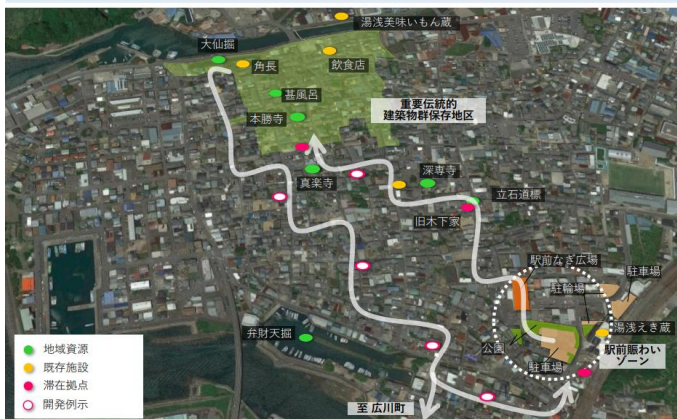
売買／賃貸借

エアマネジメント／観光施設運営／空き家開発／まちづくり事業 など

エリアイメージ(案)

湯浅町エリア計画（案） 分散型施設開発

- 駅前ゾーンと伝建地区を楔として、その間に点在する古民家等遊休資源を活用し町並みを散策する仕掛けを創出する
- 多様な魅力を配置することにより、町の歴史を感じさせつつ周遊する仕組みとする



湯浅町古民家再生事業に関するまちづくり計画
古民家活用実施方針 案
(一部抜粋)

評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度 現在の状況
文化財公開等普及啓発事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成19年度～		
支援事業名	町単独事業		
計画に記載している内容	本町固有の歴史的風致に関する文化財の公開・展示や講演会、ワークショップ、見学会の開催、パンフレット等の作成など、さまざまな形で情報発信や普及啓発のための取組みを進める。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
明恵上人生誕850年を記念して、能「春日龍神」上演会を行った。能上演会は、当初10月に施無畏寺境内において野外実施を計画していたが悪天のため実施できなかったため、3月に屋内にて実施することとなった。県内外からの関心が高かった。 ほか、和歌山県立博物館において湯浅町に関連する特別展「きのくにの小浪華」展、「紀州明恵上人伝」展が開催され、バスにより町民若干名参加の観覧・学芸員による説明を受ける機会を設けるなど、町内での啓発を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

能「春日龍神」上演会



3/30実施(なぎホール) 来場者127名

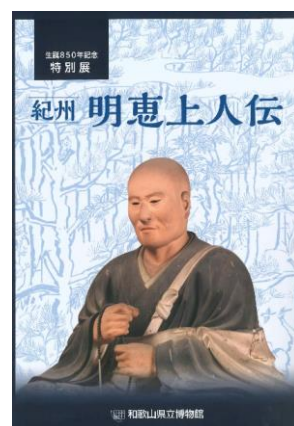
※10/1 施無畏寺境内上演会(中止) 参加申込者 175名(東は東京都、西は鹿児島県から申込有り)

和歌山県立博物館の特別展



4/29～6/18

「きのくにの小浪華ー湯浅ゆかりの文人の書画ー」



10/14～11/26

「紀州 明恵上人伝」

評価軸③-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度 現在の状況
伝統行事等継承支援事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成23年度～		
支援事業名	町単独事業、文化遺産総合活用推進事業		
計画に記載している内容	町内各所にある社寺等で継承されている祭礼などの伝統行事や民俗 芸能、町内に伝わる風習や食文化など、幅広い伝統文化を継承するための記録・用具等整備・後継者育成・情報発信など総合的な支援に取り組む。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
例年通り、顯國神社及び國津神社の三面獅子舞に助成を行って支援した。また、シロウオ漁の普及継承のために実施されてきたシロウオまつりも例年通り開催された。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			



顯國神社 若宮祭



國津神社 秋祭

広川河口のシロウオ四つ手網漁
(シロウオまつりの様子)



シロウオ漁見学



シロウオまつり 大勢の方で賑わう会場の様子

評価軸③-13

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度 現在の状況
特産物等PR総合支援事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成14年度～		
支援事業名	地方創生推進交付金事業、日本遺産魅力発信推進事業、地方創生拠点整備交付金事業		
計画に記載している内容	醤油・金山寺味噌、シラスをはじめとする水産物、柑橘類などのPRや情報発信において、歴史的価値付けをプラスし、地域ブランドの確立を目指してPR等を推進する。同じく、特産物を生産する歴史的環境保全のため、湯浅湾とその周辺に広がる段々畑の歴史的景観の保全整備等に努め、担い手育成など生産事業者に対する支援に取り組む。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
有田みかんや醤油、金山寺味噌のPRのため、11月22日～27日の6日間、阪神百貨店で開催された「日本のうまいもん×ふるさと納税」に参加し、ふるさと納税返礼品として取り扱いのある特産物の販売を実施した。段々畑によるみかん栽培のシステム「有田・下津地域の石積み階段園みかんシステム」について、10月31日に世界農業遺産事務局に認定申請書が提出された。また、新規就農者向けの補助金の交付を通じて、農業の担い手育成を行った。漁業についても、2名に対してトライアル研修を対象とした補助金を交付した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
 「有田・下津地域の石積み階段園みかんシステム」として世界農業遺産に認定を申請した			
 「日本のうまいもん×ふるさと納税」(11/22～11/27)			

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度 現在の状況
文化財の保存・活用の現状と今後の方針			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	指定等文化財については、文化財保護法や関係法令に基づいて適切な保護措置を講じる。未指定文化財については、現状把握を行い文化財的価値を調査し、必要な措置を講じる。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
「旧栖原家住宅」が和歌山県指定文化財に指定された。また、「阿瀬家住宅」および「旧国鉄紀勢西線紀伊湯浅駅本屋」が国登録有形文化財(建造物)に登録された。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			

令和5年度の新規指定等文化財



旧栖原家住宅(主屋、文庫蔵、土蔵)
和歌山県指定文化財 令和5年4月21日 指定



阿瀬家住宅 主屋・道具蔵・米蔵
国登録有形文化財 令和5年8月7日 登録



旧国鉄紀勢西線紀伊湯浅駅本屋
国登録有形文化財 令和6年3月6日 登録

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度 現在の状況
文化財の保存修理等			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	文化財の保存修理が必要な場合は、詳細な調査を行うと同時に、文化財の価値の所在を明らかにし、適切な文化財の価値の維持を図りつつ、計画的に実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
国史跡 明恵紀州遺跡率都婆(西白上遺跡、東白上遺跡)について、柵や看板の補修とともに、史跡境界の測量と現地への境界標の設置を行い、保存及び来訪者への利便性向上を図った。 そのほか、伝建地区では保存修理事業が実施された。(P3を参照)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
明恵紀州遺跡率都婆(西白上・東白上)整備事業			
			
看板の再整備		卒塔婆周辺柵の再整備	
			
境界測量および境界標の設置			

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
文化財の保存・活用に関わる各種団体との連携		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
計画に記載している内容	保存活用に関わる各種団体の連携や、ネットワーク化、組織強化、新たな団体の設立促進などを通じて、町全体で文化財を支えていく体制の構築に努める。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
文化財保存活用支援団体指定を行っている一般社団法人和歌山県建築士会へ協力し、公益社団法人滋賀県建築士会の湯浅における見学会にて、まちなみの保存活用や建築士会との連携についての講習を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
文化財保存活用支援団体との連携  建築士会講習会 (R5.09.02)			

評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

報道等タイトル		年月日	掲載紙等
【新聞】			
県文化財 新たに5件 旧栖原家住宅や「安政聞録」など	令和5年5月8日	読売新聞	
湯浅駅旧駅舎 交流の場に	令和5年5月13日	産経新聞	
和歌山出身女優岡本玲さん 湯浅町の魅力発信！	令和5年8月11日	和歌山特報	
晴れた 担いだ 笑った 湯浅・顕国神社	令和5年10月23日	読売新聞	
ミカン栽培「世界農業遺産」申請 有田・下津地域 石積み階段園	令和5年11月1日	読売新聞	
JR湯浅駅旧駅舎 国の登録有形文化財に	令和5年12月2日	有田タイムス	
非日常味わうミカン畑 1日限定レストラン 絶景に感嘆	令和5年12月19日	毎日新聞	
しょうゆ発祥地からワイン	令和6年3月17日	産経新聞	
【テレビ】			
あのじゅうよ～	令和5年6月 4週放送	テレビ和歌山	
ウラマヨ	令和5年7月1日	関西テレビ	
ニッポン美景めぐり	令和6年3月	BSフジ	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
旧駅舎の改装や登録文化財に関すること、伝統文化から特産物といった多岐にわたる話題が取り上げられた。また、テレビ番組等でも取り上げられるなど、湯浅町のメディア露出度は引き続き高いといえる。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画の進捗に影響あり ☐ 計画の進捗に影響なし			
状況を示す写真や資料等			

法定協議会等におけるコメント

評価対象年度	令和5年度
・ 法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称： 令和5年度 湯浅町歴史的風致維持向上計画推進協議会 会議等の開催日時：書面開催（令和6年5月31日（金）㍻）	
・湯浅町は、他の都市に比べて、様々な取組みがよく進んでいると評価できる。 ・このシートはフォーマットが決まっているので難しいかもしれないが、もっと自由に存分に自分たちのやっていることを褒めるべき。 ・湯浅駅周辺整備については、スケール感がよかった。また、都市再生整備計画の事後評価でも触れているが、図書館が併設されていることにより駅への送迎が安心してできる、といった声もあったと聞いている。 ・空き家の取組みはすぐにはいかないものだ理解している。小さな利活用、つまり大きな建物であれば複数者で分割して利活用する、といったことも含めて考えていくといいと思う。 ・能の10月の公演は中止になったが、当日に公演を目当てに来訪していたであろう県外の客が伝建や駅前を歩いているのを見かけた。それもひとつの効果だと思う。 ・防災訓練を行うことはとても大切。能登の地震では、すぐに津波が来ているのに関わらず甚大な人的被害には至らなかったといえる。 ・大仙堀の事業は進んでいない印象を受ける。進めるためには、土木や水利といった専門家を巻き込んだプロジェクトを組まないといけない。 ・勝楽寺周辺を周知の埋蔵文化財包蔵地にすることはできないか。 ・栖原（田も含めて）の、白上遺跡や苅藻島、集落、ミカン畑といった景観について、重要文化的景観を目指した景観調査をすべきだと思う。 ・田地区の核として、國津神社の社殿の文化財指定を考えてはどうか。 ・栖原角兵衛屋敷について、何とか整備できないものか。	
・古民家活用に関する協定に基づき「株式会社つぎと」や地元金融機関とも連携し、建物を複数者で分割して利活用することも含め、利活用の方法を検討していきたい。 ・明恵上人は、県内外にファンが多く、今回の取組は幅広く湯浅町のことを認知してもらうことに寄与することができたものと考えている。 ・湯浅町で毎年行っている避難訓練においては、ただ逃げる訓練だけでなく、「湯浅町では地震発生から35分で津波が来ます」ということを強調して発信している。そうすることで、落ち着いて行動することや自助だけでなく共助を促し1人でも多くの町民の安全が確保できるような町民の知識醸成と意識向上に努めている。 ・湯浅町伝統的建造物群保存地区内であることから、令和4年度に湯浅伝建地区保存協議会の役員および保存地区内の区長に対して、施工方法について複数の案を提示し、意見を徴収した。いただいた意見を参考に、庁内で検討を進めるとともに、県と協議を継続している。 ・勝楽寺の周辺は現在、埋蔵文化財包蔵地にはなっていない。周辺における表採遺物の確認等を意識しておくとともに、調査の機会を探していきたい。 ・歴まち2期計画や景観計画の策定等の状況も踏まえて、景観の保全の必要性を含めて検討していくべき課題であると認識している。 ・國津神社の社殿については、町指定あるいは国登録が考えられると認識しているが、専門家等の調査を待ちたいと考えている。 ・栖原角兵衛屋敷は個人所有であることから、継続して所有者と意思疎通を図っていく。	